

紆余曲折の後、今般運営委員長よりラリー専門部会長に指名頂きました。

また、ラリー部会のメンバーにつきましては、先ずは部会長交代を提言した際にご協力をお願いし、運営委員会に提案していた名簿の通りでスタートします。

全主催代表者を含み、概ね中部エリア全域より加入があり、これまでと違って、選手と主催者に寄り添った運営が出来るようになったと思います。

ご挨拶にかえて、活動方針を以下の通りお伝えいたします。

スケジュール

2026 年中に、主に全国を対象としたラリー部会長業務の全容を把握し、中部地区に情報を適切にフィードバックできるよう機会ごとにしっかり取り組んでいきます。

2 年目には、1 年目に会得した知見を元に、それらを規則も含め様々な形で実現する方法を確立します。3 年目にはそれらを次の世代へ承継していきます。

3 年での交代を目指しますので、何事も先ずは着手優先で行動したいと考えています。

活動の透明性向上

JAF も JMRC 中部ラリー部会も、規則改定の公示などに際し、その決定プロセスや理由などの説明が不足し、選手に誤解を与えたり、反発を招いたりすることが多々で、ラリー部会はその矢面に立っていると認識しています。故に、今後は公示にあわせてその意図などを説明するインフォメーションを出していきます。守秘性の高い情報に留意しつつ、議事録などを積極的に公開します。

選手会発足

規則の改定などについての提言などを、「声の大きい人」からではなく、より公平に、合理的に受け付けるために、公平で合理的な選手の意見のとりまとめ窓口として、選手会を発足します。選手会は 3 年程度で会としての形を整え、将来は主催者会と共に、ラリー部会へ様々な意見提供や提言を行い、より公平な規則の改定や制定に寄与することに期待します。

参加人口増に向けて

レッキのみ参加クラスについて、一般向けの講習会の実施とクラス設置の促進

新たな競技参加者獲得に向けて、一般車両で参加できる体験の場としてレッキのみ参加クラスの設置を開始します。また、これへの参加勧奨を PR し、新たな参加者の獲得を目指します。

参加費用負担軽減 環境改善 （ラリー保険環境の改善に向けて・全国活動）

全国のラリーで生じている対人対物車両事故について、可能な限り情報を収集、分析し、3 年程度で DB 化し、各地区共済の運営や保険会社への提言等に利用できるようにします。

さいごに

10 年以上前、事務局長を拝命していた頃から比べますと、身体能力的に随分劣化しています。ご迷惑をおかけしないよう微力を尽くします。ご指導ご協力よろしくお願い申し上げます。